

支部ニュース

S T R E E T

Vol.344 2024年(令和6年)12月1日発行

発行者 一般社団法人 北海道建築士会札幌支部 中央区大通西5 大五ビル 6F

TEL:011-232-1843 / FAX:011-222-0924 E-mail:hksj@h-ab.com <http://h-ab.com/sapporo/>

《 事業委員会からのお知らせ 》

☆『建築基準法&省エネ法改正講習会』

☆ ～ 4号特例廃止、300㎡未満住宅への省エネ適判適用の法施行に向けて ～

■日 時：2024年12月25日(金) 14:00～17:00

■場 所：札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 1050号会議室

■受講料：建築士会会員 2,000円、会員外 3,000円

■テキスト：「2階建ての木造一戸建住宅(軸組工法)等の確認申請・審査マニュアル」
「省エネ基準適合義務制度の解説」(国交省)

■CPD認定プログラム：3単位(申請中)

■定 員：45名

■申し込みは、別添ご案内をご覧ください。

■案内チラシ：[講習会案内リンク](#)

■申 込 先：一般社団法人 北海道建築士会札幌支部事務局

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地大五ビル6階

Email:hksj@h-hab.com TEL:011-232-1843 FAX:011-222-0924

《 青年委員会からのお知らせ 》

☆青年委員会スキルアップセミナーを開催いたします!

～ 実践で役立つ建築の納まりセミナー ～

☆「**図面におけるディティールの重要性**」 講師 **菊地義紀様**

■日 時：2024年12月13日(金) 18:30～19:30

■場 所：札幌コンファレンスホール 中央区南3条西2丁目6-2 KT三条ビル2階 Conference A

■参 加 料：無料

■懇 親 会：20:00～ (懇親会に参加の方は参加料 5,000円)

■定 員：30名

■締 切：12月9日(月)まで

■申し込みは、別添のご案内用紙に必要事項をご記入の上、札幌支部事務局宛てにお申込みください。

■案内チラシ：[セミナー案内リンク](#)

《 本部より 》

☆北海道建築士会ホームページ“会員専用ページ”でオンデマンド配信中!

■視聴方法：北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

【12月パスワード：**Nay050**】

《 クラブ活動からのお知らせ 》

☆札幌支部クラブ活動の報告

- ・グルメの会 第3回は11月20日(水)に、台湾料理「ごとう」で開催。
- ・ボウリング部 第3回例会は11月8日(金)に行い、12月7日(土)の支部大会での上位入賞を目指し練習しました。
- ・カーリンコン部 11月10日(日)の江別大会に参加、ベスト8でした。
- ・登山・ハイキング部 11月2日(土)イチャンコッペ山登山、釧路支部からも参加ありました。
- ・そば部 第2回例会12月21日(土)に開催、年越しそば作りの練習に参加しませんか？



☆皆様も士会仲間クラブ活動しませんか！参加者随時募集中

■クラブ活動のページへ

<https://h-ab.com/sapporo/about/sapporo-club.html>

『失敗から学ぶ』 VOL.31 《寒冷地のドライエリア》

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう。(作:井上勝己)

■はじめに

※建築と設備の取り合い部が多いドライエリアなどの場所は関係者の情報共有がポイントです。

建築と設備の分業による接点部の調整不良によるトラブルが多いので他人事にせずに取り組むことが後日のトラブル防止になります。

■有効幅1mのドライエリアが積雪で塞がった

地下1階機械室の給排気用に設置した間口有効幅1mのドライエリアの上部が大雪で塞がってしまった。

※幅1m程度の開口は積雪や雪庇で塞がる恐れがあります。間口の狭い開口は積雪で塞がることを踏まえた設計が必要です。適切な除雪等の管理が必要です。

■ドライエリアの扉が開かない

積雪を考慮し機械室床とドライエリア床に20cmの段差を設けたのに積雪で外開きの扉が開かなくなった。

※冬期間の維持管理用扉の開閉は積雪の考慮が必要です。

外開き扉の場合は上部に庇又はヒータイングの設置を推奨します。

庇やヒータイングを設置できない場合は扉下部を床面から適切な高さにする必要があります。

適切な高さはその地域の積雪量により異なり、跨げる高さと同除雪の併用がポイントです。

内開き扉の場合は雨水が漏水する恐れがあります。引き戸はレール部が凍結して使用不可の恐れがあります。

■ドライエリアの上部から雪庇が落下して設備機器の損傷

ドライエリア上部の幅 50cm梁型から雪庇が落下して下部の屋外機と配管が損傷してクレームになった。

※梁型などの積雪は一部雪庇となり落下します。新雪の雪庇であれば落下しても被害は少なく済みますが長期間凍結・融解を繰り返す先端が氷塊の雪庇の落下は大きな破壊力があります。

■ドライエリア上部を横断している設備配管に積雪

ドライエリア上部に設備配管を水平に設置したら配管上部に雪が多量に積もり配管受金物を追加した。

※設備配管を連続して 10 cm程度の間隔に設置すると橋のような形状になるので配管上部に積雪します。積雪荷重に対応した架空配管、配管受金物が必要です。

■ドライエリア上部に設置した電気設備のジョイントboxに積雪

ドライエリア上部に露出で設置した SUS 製 30 cm角の電気設備ジョイントboxに 1m以上積雪した。

※大型の電気設備ジョイントboxは積雪荷重を考慮した強度、固定が必要です。

自習型認定研修の設問



設問 1

ドライエリアの計画で正しいのはどれか？

- 冬期間のドライエリアへの出入りを考慮する。
- ドライエリアの有効幅は必要な幅を確保すればよい。
- 上部梁型等の積雪は成り行きとする。

設問 2

ドライエリアの計画で正しいのはどれか？

- 電気設備の積雪対応はほとんど不要。
- 上部からの雪庇や積雪の落下を考慮する。
- 上部の細い架空配管の積雪荷重は特に考慮不要。

認定教材の設問への回答は、CPD 情報システムのページ <https://jaeic-cpd.jp/> にアクセスのうえ、お願いします。
※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。